

図書館員のひみつの本棚 第4回

みなさん、こんにちは！暑い日が続いていますがいかがお過ごしですか？本があまり好きでない子どもでも、その本と出会うとたちどころに本が好きになる、そんな魔法のような本を毎月図書館員が紹介するコーナーがこの「図書館員のひみつの本棚」です。これまでの回は絵本が中心でしたので、第4回目の今回は絵本以外で2冊選びました。今後も絵本を含め多彩に紹介していきたいと思いますので、ぜひ手にとって読んでみてください。

『きえた犬のえ ぼくはめいたんてい①』

マージョリー・W・シャーマット 文 マーク・シーモント え

光吉 夏弥 やく 大日本図書 1260円 よみもの

<お勧め年齢>

幼稚園★☆☆ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年☆☆☆ 中学☆☆☆

高校☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

ネートは9さいのおとこの子。仕事はたんてい。どんなじけんでもかいけつします。こんかいのじけんは、友達のアニーがかいた犬のえがなくなったのです。犬のファングもはんにんではないし、友達のロザモンドもちがうようです。あとはおとうとのハリーだけ。でもハリーの部屋をいくらさがしても犬のえはありません。ととつぜん、ネートは犬のえがどこにあるのかひらめきました！ヒントはあか+きいろ=だいだいいろ、です。ぜひみんなもネートといっしょにこのなぞにちょうせんしてみてくださいね！

<子どもに手渡すときのポイント>

小学校低学年にぴったりの読み物です。挿絵も多く、字も大きいのであまり本を読まない中学年の子でも自分で読んで楽しむことができます。この本はシリーズになっているので気に入った子には、ぜひシリーズのほかの本もお勧めしてください。



『モンスターをかこう！ エンバリーさんの絵かきえほん』

エド エンバリー 作・絵 徳間書店 1470円 美術

<お勧め年齢>

幼稚園★★☆ 小低学年★★★ 小中学年★★★ 小高学年★★★ 中学★★☆

高校★★☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

△□○などの絵を組み合わせてモンスターを描いてみよう！やり方は簡単！本にのっているとおりにかけば大丈夫。あっという間にきゅうけつきや、血すいこうもりや、しにがみはかせが描けるよ！絵の下に新しく描く形が描いてあるから、それを描き足していけば絵ができてきます。どこに描き足すかはページの絵をよくみてまねしてくださいね。

<子どもに手渡すときのポイント>

何歳でも楽しめる本です。ただ小さい子には本の使い方を大人が説明してあげてください。子どもたちはモンスターが大好きです。やり方さえわかればすぐに夢中になって描き始めます。以前小学校の留守家庭子ども会でこの本を紹介したら、毎回毎回(月1回ボランティアで通って本を読んであげていたのですが)この本はみんなの人気の的でした。私たちを見かけると「あのモンスターの本今日ある？」と聞いてきます。そして子どもたちはこの本があれば20分くらいは夢中で絵を描いていました。私たち大人もやり始めると一緒に夢中になって「次は血すいこうもりにしようよ！」などと盛り上がります。本にあまり興味を示さない子でも友達が描いている絵をみて自然ととなりにすわってきます。1冊をみんなで楽しめる本です。同じ著者で『のりものかけちゃうよ』『なんでもかけちゃうよ』『どうぶつかけちゃうよ』等の本もでていきますので、ぜひ見てみてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

早良図書館 吉岡 さやか